

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の付き合いにおいて、コロナ感染症による閉鎖的な期間が長かったので、係る人物も関係性が希薄になっている。	地域の方々との出会いを作れるように活発に行動し、地域の方々に認知症の方々の事を認識していただき、お互いに地域の一員として生活に溶け込む。	散歩を復活させ、近隣住民の方々との出会いの機会を作る。 近隣の方とのすれ違いや、公園など出会いのある時には積極的に挨拶を交わす。	12ヶ月
2	4	運営推進会議がコロナ禍で出来ていなかったため、地域との活発な情報交換が出来ていなかった。	対面での運営推進会議を行うことで、意見交換が出来、交流が深まりより良い関係性を築ける。	2か月に1度対面による運営推進会議を開催する。 自治会の方、民生委員の方、生き生き支援センターの方、ご家族など出来るだけ多くの方へのお声掛けにより参加していただき、情報交換や交流を深めることでサービスの向上に活かす。	12ヶ月
3	49	室内で過ごす日々が長引いたので、外出に対する気力や体力が減退している。	外出支援が日常的になり、色々な刺激がある豊かな毎日を提供でき、生き生きとした生活の場が築ける。	散歩や外出レクなどを取り入れていく。 職員が買い物や銀行などに行くときには、利用者も一緒に同行し、日常の生活の営みを味わったり往復のドライブを楽しむ機会をつくる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。